

男女共同参画推進審議会 会議録

審議会等の 名 称	令和5年度 第1回 瑞穂市男女共同参画推進審議会
開催日時	令和5年12月5日（火曜日） 午後1時30分から午後3時00分
開催場所	ココロかさなるCCNセンター 第4会議室
議題	(1) 令和5年度実施事業について (2) 市民意識調査について
出席委員 欠席委員	<p>出席委員 宮坂 果麻理会長、河合 京子委員、三輪 育子委員、近藤 奈保美委員、 水野 真由美委員、北倉 利治委員、福田 公公平委員</p> <p>欠席委員 小倉 妙子副会長、黒田 孝司委員、馬渕 一弘委員、馬渕 ひとみ委員、 赤尾 亮委員、櫻井 翼委員</p>
公開の可否 (非公開理由)	可
傍聴人數	0人
審議の概要	<p>開会 【事務局】 委員総数13名に対し過半数を超える委員の出席があり、瑞穂市附属機関設置条例第8条第1項に基づき会議が成立していることを宣言した。</p> <p>本会議について瑞穂市審議会等の設置、運営等に関する要綱第11条により原則公開すること、また第12条により当審議会の傍聴を希望する者に傍聴を認めることを各委員に確認し了承を得た。</p> <p>傍聴者の確認を行い、傍聴者は0名であった。</p> <p>会長挨拶 【会長】 あいさつ</p>

議事1 令和5年度実施事業について

【事務局】

事務局より説明を行った。

【会長】

事務局の説明について、各委員に対し質問、意見を求めた。

【A委員】

性的マイノリティの方と話す機会があり、家族にもカミングアウトできずに生きていくつらさを、少しでも知ってもらうことだけでもすごくうれしいと言っていた。性の多様性を知るダイバーシティ研修、ワールドカフェ等で多くの方に性的マイノリティについて学べる機会を設けたことは、非常に良いと思う。

【B委員】

ワールドカフェ、ダイバーシティ研修に参加し、とても勉強になった。

【会長】

講演会に関して、本当は行きたかったが行けなくて残念だったという話を聞いた。学ぶ機会を求めている市民は多いと感じている。次年度も関心をもっていただけよう、なかなか光が当たらないテーマこそ取り上げていただきたい。

議事2 市民意識調査について

【事務局】

事務局より調査の趣旨、調査票の修正点について説明を行った。

(市民向け調査票について)

【会長】

事務局の説明について、各委員に対し質問、意見を求めた。

【C委員】

調査対象者数の2,000人とする理由は。

無作為抽出の際、年齢ごとに比率を案分するのか

	<p>【事務局】</p> <p>岐阜県が実施した同種の調査に合わせて2,000人とした。また、市が実施した過去の調査も同数である。</p> <p>人口における年齢配分に合うように抽出方法を検討する必要があり、今回調査では反映させていく。</p> <p>【D委員】</p> <p>選択する回答の数について、1つのみ選ぶものと、複数を選ぶものとあるが、その違いは。</p> <p>【事務局】</p> <p>回答が単一の場合は、相反する内容に順序を付け度合を測るものと、優先度が最も高いものを選ばせるものがある。</p> <p>複数の場合は、優先度の高いものを選ばせるものだが、想定する事業などが広範であるため選択肢を多く設定している。</p> <p>【E委員】</p> <p>問22について、「配偶者や交際相手に暴力をふるう」こと前提としている部分に違和感を覚える。</p> <p>【事務局】</p> <p>設問文が不明瞭であるために質問の趣旨が伝わらないと思われるため、文章に修正を加えこととする。</p> <p>【C委員】</p> <p>性的マイノリティについての設問が追加されているが、肯定的な選択肢が多いように感じる。中立的なアンケートとするため、問20などは否定的な意見の方も回答できるように選択肢を変更した方が良い。</p> <p>【事務局】</p> <p>問20について、回答の選択肢に否定的な意見を追加することとする。</p> <p>【会長】</p> <p>ドメスティック・バイオレンスに関する設問の流れの中に、セクハラ、マタハラなどが入っている。人権に関することであるが、別の問題であると思われる。</p>
--	--

【事務局】

設問をドメスティック・バイオレンスとセクハラ、マタハラ等のものと設問を分けるように修正する。

【会長】

用語の認知度を問う設問の中に「アンコンシャス・バイアス」を追加してはどうか。

【事務局】

追加することとする。

(事業所向け調査票について)

【C委員】

調査対象の1, 000事業所の選出方法は。

【事務局】

瑞穂市商工会に所属する事業を対象に調査を行うもの。

【F委員】

「女性の管理職を増やすためにどのようなことが必要か」を問う設問において、「意識啓発のために女性従業員を対象とした研修の実施」とあるが、女性従業員だけではなく、むしろ男性従業員を対象とすべきではないか。

【事務局】

選択肢の内容を女性に限定しない内容に修正することとする。

(他に質問、意見なし)

【会長】

本日の審議は以上とする。

閉会

事務局 (担当課)	瑞穂市 企画部 総合政策課 TEL 058-327-4128 FAX 058-327-4103 e-mail sougou@city.mizuho.lg.jp
--------------	---